



CONTENTS

- 表紙
- 2 目次
- 3 代表からのご挨拶
- 4 太陽の家について
- 5 活動一覧
- 6 2019年度活動報告
- 9 次年度の活動
- 10 現状の課題
- 11 メディア掲載
- 12 お礼

代表からのご挨拶

2020年7月、みなさまにお力添えいただい たおかげで無事に年度を終えることができま した。いつもありがとうございます。

「太陽の家」は2015年の冬に任意団体とし て発足し、翌年の10月にNPO法人となりまし た。発足から5年、あっという間でした。

子ども達に無償で楽しい食事と安心できる 居場所を提供する「こども食堂」、より支援 が必要な子育て家庭に食品や日用品をお届け する「フードバンク(個別宅配)」「フード パントリー(食品配布会)」、などなど、一 人でも多くの子ども達の笑顔を守りたい、安 心して助けての声が上げられる社会にした い、その一心で活動してまいりました。

特に今年は新型コロナウイルスが猛威を振 るい、私たちの活動の主軸である「人と人と が繋がりあい助け合う居場所」の活動が難し くなる一方で、たくさんの子育て家庭からの SOSが届きました。

ちの混乱の中、子ども達は居場所を失い声を上 げることもできずただただ放置されていったこ とでした。 「今、動かなければ、いつ動く」と、とにか

く動き出し、私たちに何ができるか、私たちは 何をするべきか、動きながら何度も何度も考 え、また動く。

そして何より私たちが辛かったのは、大人た

ほんの少しでもできることがあるなら、やる しかない。そんな思いで、今年度は今まで以上 にたくさんの活動をさせていただきました。 どうぞ活動報告をご覧いただけたらと思いま

このコロナ禍でも活動を続ける事ができたの は、子どもたちの笑顔を思い、支えたいという 支援者さまのご援助と、イベント当日のみなら ず準備や事務作業など毎日のように動いてくれ たボランティアメンバーの力があってこそだ と、本当に感謝しております。これからも、皆 様の子ども達を思う気持ちをしっかり形にし、 子ども達に届けてまいります。

まだまだこれからも厳しい状況は続きます。 厳しい状況に置かれたまま、手の届いていない 子ども達もまだまだたくさんいます。

一人でも多くの子ども達の笑顔を守り、安心 して繋がり助けての声が上げられる社会に近づ くために、どうかこれからもお力添えをお願い いたします。



NPO法人 太陽の家

理事長対馬あさみ

きみを、あな たを、ひとり にしない。





太陽の家のご紹介

太陽の家は「きみを、あなたを、ひとりにしない。」を合言葉に、 桑名市で2015年から活動している「子ども・子育て支援団体」です。 地域のこどもが無料で食事を楽しめる「こども食堂」、子どもの居場 所、虐待防止活動、学習支援、個別家庭支援のフードバンク・フードパ ントリー、シングルマザー支援等を実施しています。子どもたちが楽し く過ごせる居場所が増えると良いなと思って活動をしています。

NPO法人 太陽の家

活動一覧

イベント実施回数

支援者数・イベント参加者延べ人数

ボランティア延べ人数

2019年度

74

4,679 D 528 A

子ども支援



子どもの居場所 (子ども食堂、学校内 カフェ、等)

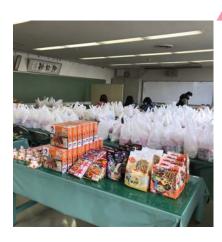


子どもの見守り、相談、 虐待防止活動



学習サポート、受験サポート

<u>子育て家庭支援</u>



フードパントリー (食品配布会)



一フードバンク(個別家 庭への食品宅配)



─ ひとり親家庭の個別支援

中間支援、人材育成

🛑 三重こども食堂ネットワーク、学生ボランティアフェスティバル



2019年度活動報告

 $2019.08 \sim 2020.07$

本事業年度においては、新型コロナウイルスの感染拡大が 社会に大きな影響を与え、その前後によって活動のあり方 が大きく変わることになりました。

そのため、Beforeコロナ(2019年8月~2020年2月)とWith コロナ(2020年3月~2020年7月)の二つの時期に分けて活 動のご報告をいたします。

Beforeコロナ期の活動 (2019年8月~2020年2月)

主に、「子どもの居場所」「個別家庭の支援」「子ども支援員のスキルアップ」「ネットワークによる中間支援・市民活動団体の立ち上げ支援」に力を入れて活動を実施しました。

当法人の主の活動である「子ども食堂」は2020年2月まで毎月開催致しました。

参加者も安定して増加し、毎回150名前後の参加があり、多い時では200名を超える親子の参加がありました。子ども達の居場所として、地域に定着してきたと感じます。

利用者増の要因としては、毎月欠かさず継続して開催してきたことで認知が高まり新規の利用者と繋がった事、遊びイベントや学習支援を並行して実施した事で子ども食堂の魅力が高まり、スタッフとの関係性も強化されて「楽しくて安心できる、毎月来たくなる居場所」として子ども達の継続参加に繋がった事等が考えられます。

さらに、より支援が必要な家庭への食料品や日用品の提供、参加家庭を限定した非公開の食事会の実施、個別家庭への相談支援、行政や地域団体等の専門家への橋渡しなど、個々の家庭に寄り添ったより深い支援も継続して実施することができました。

また、啓発活動や、ネットワークによる中間支援など地域力を高める間接的な支援活動も充実しました。

地域課題や子どもの貧困問題の啓発や研修のための講演等での登壇や、学生ボランティアフェスティバル(三重県、桑名市後援)等の啓発イベントの実施、三重県内の子ども食堂の運営を支える「三重こども食堂ネットワーク」での県内各地の子ども食堂の中間支援(23団体に登録増加)、県内の複数の市町と共同で「子ども食堂開設講座」の開催、シングルマザー支援団体全国協議会と連携して一人親家庭の環境改善に関する行政への働きかけ等も実施しました。











その中でも、今期は行政との連携の機会が増え、地域 の人に向けて広く効果的な情報の周知のおかげでより多 くの親子と繋がることができました。

- ・桑名市内の子ども食堂一覧チラシの市役所等への設置
- ・桑名市図書館とのコラボレーション企画の実施(図書館内に子ども食堂に関する特別展示を1ヶ月程実施、図書館内での子どもカフェの開催)
- ・桑名市社会福祉協議会との「小・中学生のボランティア体験企画」

さらに今年度は、子ども支援員の育成研修を実施し、 支え手の育成に力を入れました。

子ども達が集まる居場所が少しずつ定着してきている中で、その質を高めていくことも子どもたちが安心して過ごせる居場所作りにとって大切です。

- ・子どもの声を聞く「子どもアドボケイト」研修
- ・子ども支援員に必要な「子どもとの距離感・接し方」 の研修

等を実施し、ボランティアさんがより子どもたちに寄り添った活動ができるようスキルアップを図りました。













Withコロナ期の活動 (2020年3月~2020年7月)

新型コロナウイルスの感染拡大を受け、3月2日から全国すべての小・中・高校などについて、春休みに入るまで臨時休校を要請するとの発表がありました。

この発表を受け、「子どもを預ける先がないけど仕事も休めない」「仕事に行けなくなる」「給食がなくなったら食費がかかってしまい困窮する」などと多くの保護者から相談や不安の声が届きました。

子どもたちも1ヶ月に渡り外出が制限される状況は大きなストレスとなり様々な問題が起きることが予想されました。

そこで、まずは、子どもや保護者が今感じている不安を言える機会を作りたいと思いました。

そして、どのような支援が求められているかを お聞きし、関係機関への提言や、私たちに何がで きるか効果的な方法を見出したいと考え、子育て 家庭へアンケートを実施しました。

アンケートには子育て家庭200件以上の回答が寄せられ、多くの不安の声が集まりました。その声をもとに、この時期だからこそ必要な支援を考え、感染リスクを抑えた形で実施し、延4,679人の親子さんに支援を届ける事ができました。





三重県知事、桑名市長、行政関係部署に面談の機会をいただき、アンケート結果を報告させていただきました。

それにより、三重県が運営する基金による子ども食堂への補助事業の実施や、桑名市と共同で「子どもの見守り強化事業」を実施することに繋がり、子どもや子育て家庭への支援の充実に寄与しました。

行政との連携もさらに強まりました。

- ・桑名市広報での子ども食堂特集の掲載
- ・桑名市内の中学校での校内カフェの開催
- ・桑名市との共同での困窮家庭への弁当配布
- ・食品配布会への桑名市の相談員派遣による官 民連携した支援体制の構築、等。

また、「要保護児童対策地域協議会」、「三重 県子どもの貧困対策及びひとり親家庭等支援懇 話会」、「三重県社会福祉審議会」等の委員と して抜擢を受け、行政に現場の声を届ける事が 可能となりました。





次年度の活動

来期も引き続き子ども支援・子育て家庭支援を充実させていくために、ネットワーク等の他団体との連携強化、人材育成研修、等によって地域の力を最大化し、そのための組織基盤の整備も併せて実施していきたいと思います。

子ども支援の更なる充実

コロナ禍で支援が必要な家庭が増えており、また、子どもや保護者 の孤立も深刻度を増しています。子ども達との接点を増やし、支援 につながれる場を一つでも多く作っていきたいと思います。

- (1) 子ども食堂だけでなく、軽食や飲料を提供する「子どもカフェ」、学校と連携し学校内での「校内カフェ」、学習支援、受験生に対応した受験支援、等を開催し、子どもの居場所を増やします。
- (2) フードパントリー(食品配布会)、フードバンク(個別家庭への食品宅配)、等の子育て家庭支援を実施します。
- (3) 学用品のお下がりを循環させる仕組みを作りたいと思います。制服、絵の具や習字道具、筆記用具、等の学用品の購入が負担になっている家庭からのSOSが増えてきています。卒業生等からのお下がりが循環する仕組みがあれば安心して学校生活を送ることができるようになります。
- (4) 子育て支援者の育成をします。「子ども食堂開設講座」の開催や、ボランティア希望者向けの啓発講座や研修等を定期的に実施し、多くの方が地域課題に目を向け、支援に参加する機会を増やします。

関係機関との連携やネットワークの充実

一つの団体だけでできることは限られます。行政や地域団体等の 様々な機関と連携を強化することによって、より多くの子どもに、 より充実した支援を継続的に届けます。







現状の課題

今期は食糧支援の世帯数が大幅に増加するなど、活動の規模が急激に増大しました。次年度もコロナの収束は見えず厳しい状況が続くと予想され、継続した事業の実施と充実を図るためには、「人材」「設備」「資金」の整備が必須となります。

活動規模の拡大で固定費等の負担も大きく増えることになりますが、 来期は資金獲得やこれらの組織基盤の整備にも力を入れて活動を力強く 推進していきたいと思います。

(1) 人材

・子どもの見守り強化事業や学習支援等の新規事業も開始され、専従職員が必要となってきました。今までは全てボランティアスタッフにて実施してきましたが、その業務量や重要性はボランティアで対応できる範疇を超えています。適切な人材を採用し、より強力に事業を推進していく必要があります。

(2) 設備、拠点

- ・食品を保管する場所と設備が必要。数百食単位での食品提供が増えてきたためそれらを保管できるスペースの確保、冷蔵品や長期保管品(玄米など)が適切に保管できる冷蔵庫等の設備が必要となります。
- ・子どもの見守り強化事業等を新たに開始するため、個人情報を適切に扱うことの できる事務所が必要となります。(ミーティングスペース、書類管理庫、等)。

(3) 資金

・上記、人材や設備の確保により今までにはない固定費が多く発生 します。安定した運営のための資金づくりが活動の継続と充実のた めに必須となります。







メディア掲載

太陽の家の取り組みを多くのメディアに掲載いただきました。一部をご紹介いたします。

- ・3月10日 中京テレビさま コロナの子育て家庭への影響について、食品配布の活動について
- ・3月15日 朝日新聞さま 休校の影響について
- ・3月15日 日本テレビさま 子育て家庭への食品支援について
- ・3月17日 中日新聞さまひとり親家庭の状況 アンケートについて
- ・3月22日 毎日新聞さま 孤立を防ぐ地域食堂の取り組みについて
- ・4月1日 共同通信さま、東京新聞さま、中日新聞さま、 産経新聞さま、北國新聞さま、伊勢新聞さま ひとり親家庭アンケートについて
- ・4月1日 毎日新聞さま 親と子のSOS 子ども食堂等の取組について
- ・4月10日 三重テレビさま、伊勢新聞さま 三重県知事訪問 子育て家庭の現状について
- ・4月15日 NHKさま ひとり親世帯を支援の食品配布と食品寄付の呼びかけについて
- ・4月23日 朝日新聞さま コロナ下での支援の葛藤について
- ・5月12日 中日新聞さま 桑名市と連携した子育て家庭への惣菜配布について
- ・5月16日 FM三重さま 子ども食堂の取組とコロナの影響について
- ・5月18日 中日新聞さま ひとり親の困難について
- ・6月21日 中日新聞さま、伊勢新聞さま 企業との連携 食品寄付について









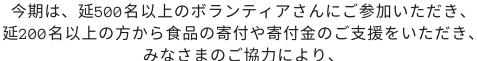


ご支援のお礼

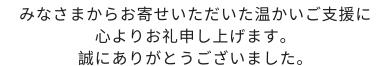


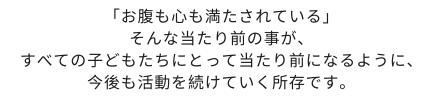


NPO法人 太陽の家 事務局長 近藤正明



4,679人もの親子に支援を届けることができました。





どうぞ今後ともご支援賜りますようお願い申し上げます。









ご協力のお願い

太陽の家では、今年度もボランティア募集、寄付の募集を行なっています。 今年度も引き続きご協力よろしくお願いいたします。

【お問い合わせ先】

メール: info@taiyounoie2015.com 電話: 050-5318-3524 ホームページ: https://taiyounoie2015.com

【ご寄付口座】

[百五銀行] 桑名支店 (普) 859351 [三菱UFJ銀行] 桑名支店(普) 0251800 [東海ろうきん] 桑名支店 (普) 440027

[ゆうちょ銀行] 支店名: 二二八(読みニニハチ) 店番: 228 (普) 3077350



